

Japan チャレンジプログラムスポンサー登録状況について

平成17年6月1日の「官民連携既存化学物質安全性情報収集・発信プログラム（Japan チャレンジプログラム）」を立ち上げ以来、これまでに62社、3団体から自主的な参画を得、優先情報収集対象物質リストのうち海外で情報収集の予定のない78物質についてスポンサー登録が行われました。

これは、本プログラムにおいてスポンサーを募り、情報収集を行うこととしている物質の約5割にあたります。

1. コンソーシアムの形成やカテゴリ評価への取組

- 12件のコンソーシアム¹が形成され、複数の企業が協力して情報を収集
- 類似の構造をもつ複数の化学物質をグループ化して評価するカテゴリ評価²のような新しい評価手法への積極的な取組も進められている。

2. スポンサー登録状況

(1) 登録物質数順スポンサー企業

スポンサー登録物質数	スポンサー登録企業名 (括弧内は過去OECD/HPVプログラムに貢献した物質数)
8 物質	花王(株) (28物質)
6 物質	昭和電工(株) (8物質)
5 物質	日本油脂(株)、三菱商事(株)
4 物質	三洋化成工業(株)、ダイセル化学工業(株)、大日本インキ化学工業(株)、大八化学工業(株)、日本乳化剤(株)、三井化学(株) (1物質)
3 物質	旭硝子(株) (11物質)、(株)ADEKA、川研ファインケミカル(株)、日本精化(株)、三菱瓦斯化学(株) (17物質)、有機合成薬品工業(株)

¹ 複数の事業者が共同してスポンサーとなり、情報収集を行う形態。

² 類似の構造を持つ複数の化学物質からなる化学物質のグループを1つにまとめること(カテゴリの形成)により、試験データがそろっていない物質についても評価できる場合があり、個別に評価を進めるよりも効率的に評価を行う手法。

2 物質	宇部興産(株) (9物質)、本州化学工業(株)、三井物産(株)、三菱レイヨン(株)、ライオン(株) (14物質)
1 物質	旭化成(株)、有本化学工業(株)、アルベマール日本(株)、(株)エーピー・アイコーポレーション、エムジーシー・デュポン(株)、オリエント化学工業(株)、花王クエーカー(株)、川崎化成工業(株)、協和発酵ケミカル(株) (8物質)、クラリアントジャパン(株)、(株)クラレ、グレートレイクスケミカル日本(株)、ケミプロ化成(株)、五井化成(株)、小西化学工業(株)、山水色素工業(株)、山陽色素(株)、シプロ化成(株)、城北化学工業(株)、新日本理化(株) (27物質)、住化カラー(株)、住友化学(株) (16物質)、大日精化工業(株)、チバ・スペシャルティ・ケミカルズ(株)、テイカ(株) (2物質)、電気化学工業(株)、東ソー(株) (19物質)、東洋インキ製造(株)、東レ(株)、錦商事(株)、日宝化学(株)、(株)日本触媒、日本蒸溜工業(株)、日本ゼオン(株) (1物質)、日本曹達(株)、野間化学工業(株)、御国色素(株)、理研ビタミン(株)、ローディア ジャパン(株)、和歌山精化工業(株)

(2)登録物質数順スポンサー団体

スポンサー登録物質数	スポンサー登録団体名 (括弧内は過去OECD/HPVプログラムに貢献した物質数)
5 物質	農薬工業会
1 物質	シリコーン工業会 (6物質)、日本科学飼料協会

(参考)過去OECD/HPVプログラム等にご貢献した企業
(物質数順、各事業者からの報告ベース)

貢献物質数	企業名	貢献物質数	企業名
44 物質	BASF AG	6 物質	(株)クレハ
35 物質	BASF Corporation	4 物質	四国化成工業(株)
20 物質	三菱化学(株)	3 物質	出光興産(株)、三星化学工業(株)、ライオン・アグゾ(株)
18 物質	デュポン(株)	1 物質	Chemische Fabrik、日産化学工業(株)、日立化成工業(株)
7 物質	ダウ・ケミカル・カンパニー		

